

## イベント参加・移動「もったいない市」の 開催と「2R」啓発冊子作成・配布

ひろげる助成

3年目

実践

ごみ減量リーフレット 配布 **2,196枚**

「環境未来プロジェクト」参加者 **851人**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**



環境未来PJ「ごみを減らすぞ〜」コール

### 苦労した点と工夫した点

#### ■苦労した点

行政と協働事業を行うにあたり、行政とNPOの時間軸に差があったり、目指すべき方向の調整に時間が必要になった。

#### ■工夫した点

①毎年度、環境啓発の内容を増やした ②中高校生を巻き込む事で大人が活動に興味を持つようにした ③地域の企業がこの活動に協力しなくなるような仕組みを作った

### 課題

多くの市民が「ごみの減量」の言葉と行動が結びついていないことで、ごみ減量が進んでいない。環境保全に係る行動を正しく認識する意識改革が必要と考えた。

### 目標

- ①市民が正しく3Rを理解して行動する  
ごみ減量活動に取り組む市民が増える
- ②2Rを重視した環境教育・環境学習を行う

### 活動内容と成果

環境行動について市民の理解度に合わせて配布できる「2R もったいない実践メモ帳、スッカリ☆エコ自慢冊子、ごみ減量リーフレット」を作成し配布を行った。

また、市民に「2R」の重要性や「もったいない精神」の浸透を図るために、ごみゼロカフェや講演会を開催した。結果、参加した市民より「2Rが大切」や「もったいない」「ごみ減量します」といった声がアンケートに記載された。

3年目の集大成として浜松市と事業者、市民・NPOがイベント「環境未来プロジェクト〜ごみ減量天下取り大作戦〜」を協働開催することができた。



移動もったいない市 ごみ減量啓発



移動子どももったいない市

### 全助成期間の活動を振り返って

「広報はままつ」やその他の情報媒体により啓発活動を発信したことで多くの市民が気になる活動となった。また、環境啓発のメニューを毎年度増やすことで、一つでも活動が上手くいくと次の行動を行いたくなるような好循環の仕組みを作ることによって市民の意識の変化が生じた。環境啓発として、3種類の啓発冊子を作成し配布を行ったが、3年目には不要な物は貰わない市民が出てきた。その変化を感じる活動ができて良かった。

活動地域 | 静岡県浜松市

〒431-0201 静岡県浜松市西区篠原町

10082番地の1

電話：053-440-0150

E-mail：info@ecolifehamamatsu.com

https://ecolifehamamatsu.com/



今後の  
展望

今後予想されるSDGsを標榜する社会のうねりが市民意識を動かすと考えている。本NPOは、この3年間の活動をさらに継続する事で市民の環境行動が促進されると見通している。  
また、浜松市が目指す「家庭ごみが一番少ない政令指定都市を目指す活動」を協働して行う。また、来年度は、市民が「ごみ減量宣言」で一番興味を持った「食品ロス」を中心に据えたごみ減量啓発活動を協働して行う。